

リンゴ極早生種 ‘夏緑’

研究のねらい

‘祝’、‘旭’に替わる早生種を育成する。

研究の成果

選 抜 理 由：食味に優れた極早生種として選抜された。

組み合わせ：‘きたかみ’×メク10（‘つがる’×‘祝’）

交 配 年 次：1973年（昭和48年）

登 録 年 次：1983年（昭和58年）2月

命名の由来：緑色の夏リンゴであることに由来する。

樹 の 性 質：樹勢はやや弱く、開張性で、結果年齢に達するのは早いですが、果実が小玉であるために生産力は低い。斑点落葉病には‘ふじ’よりもやや弱い。霜害に弱い。

収 穫 時 期：8月上旬であるが、熟期が不揃いなので、2～3回に分けてすぐりもぎをする必要がある。

果 実 特 性：1果重は150g前後で小さく、果形は円形である。果皮は光沢のある緑黄色で、完熟すると陽向面に淡紅色の縞が入る。果肉は黄白色で、やや硬く、ち密で果汁が多い。食味は、酸味が薄く、甘味で良好である。貯蔵性は室温で10日間程度、冷蔵で2週間程度である。



発表資料

1. 育種部（1982）. リンゴ新品種「夏緑」. 昭和57年度指導参考資料：76-77.
2. 山田三智穂ら（1987）. リンゴ新品種‘夏緑’・‘北斗’について. 青森りんご試報 24：1-10.